



千葉県最低賃金改正のお知らせ

千葉県内の事業場で働くすべての労働者（パート、アルバイト等を含む）及び、その使用者に適用される千葉県最低賃金（地域別最低賃金）が次のように改正されました。

平成27年10月1日から

時間額 817円
(従来の798円から19円引上げ)

NEWS れんごうちば

連合千葉第15回定期大会会長挨拶（要旨）

ストップ・ザ・格差社会！
すべての働く者を連合の輪へ
「安心社会」を切り拓こう！

連合総連合会千葉県連合会



連合千葉 会長 鈴木 光

この一年を振り返れば大きな選挙の連続でありました。昨年末の第47回衆議院選挙は、短期決戦となり「一強多弱」の政治状況を生む結果となり、候補者調整の問題等含め民主党の信頼回復とまでは至りませんでした。引き続く4月の第18回統一地方選挙では、組織内候補全員当選を果たし、高い成果を上げることができました。多大なるご尽力を頂いた構成組織、地域協議会の取り組みに感謝を申し上げます。

まず、はじめに、先月末に閉会した第189通常国会は、戦後70年の節目の年に戦後最長の延長国会となりました。とりわけ歴史的にも大きな2つの法案が強行採決されました。1つは、9月11日に労働者派遣法改正法案が数の論理によって、強引に決められました。この間、連合は「STOP THE 格差社会！暮しの底上げ実現」第3弾のキャンペーンを

全国で展開し、全国縦断アピールリレー、集会や国会包囲行動など様々な行動を積み重ね「労働者保護ルール改悪阻止」の取り組みを構成組織・地域協議会の皆さんとともに展開してまいりました。今後は、付帯決議に基づく労働組合としてのチェック機能・点検活動も問われることとなります。

更に、労働基準法改正案が継続審議となっており、「国民・労働者は歴史上最大の危機に直面している」ことを強く訴え「労働基準法改悪阻止」の世論の大きなうねりを喚起することが重要です。

2つめは、9月19日未明に可決・成立した安全保障関連法案であります。特別委員会では審議不十分のまま反対する多くの国民の声を無視した暴挙は決して許されるものではなく、国会そのものが民意を蔑ろにした機能不全に陥っており、この暴走に歯止めをかける闘いを強化していくことが重要です。

次に、今年も異常とも云える自然災害が多発した年となりました。各地で被災された皆さんにお見舞い申し上げますとともに一日も早い生活再建をお祈りいたします。「東日本大震災」から、4年7か月が経過しましたが、未だに本格的な復興・再生には程遠く、被災地・被災者の苦難は続いております。私たちは決して震災を風化させず、継続した支援の活動を連合本部や連合関東ブロックと連携して進めていくことを改めて誓い合いたいと思います。

さて、本定期大会は、向こう2年間の運動方針を決定・確認することが主要議題であります。今一度、連合結成の原点を一人ひとりが自覚し、「すべての働く人・生活者の拠り所となる」力強い労働運動を職場・地域から再生させるとともに、希望を持って安心して暮らせる社会の実現に向けた決意を新たにすることが大切であると考えます。私たち連合千葉は、2年前の第14回定期大会で、①「1000万連合」方針を踏まえた、連合千葉「20万組織」に向かた「仲間づくり」、②第3次男女平等参画推進計画の始動、③労働者自主福祉運動との連携の強化、の3つの柱を基本に運動方針を確立してまいりました。職場第一線においては、雇用形態の多様化に伴い、パート・有期契約社員、派遣社員が4割以上に及んでいる現状を捉え、仲間づくりとして更なる組織化・組織拡大を極めて重要な取り組みとして位置づけ、2020年までに1000万連合達成に向けた「20万連合千葉」という目標に引き続き果敢に挑戦していきたいと考えます。

とりわけ、この2年間の春季生活闘争は、労働組合の社会的責任が大きく問われる闘いでありました。格差是正と暮らしの底上げのために、構成組織は月例賃金に拘る取り組みにより、一定の成果と前進があったものと考えます。明春闘に向けて、非正規の皆さんの待遇改善や男女間賃金格差の是正など、「働く人への投資」を基本に労働組合の存在価値を更に高めながら労働条件の改善を進めつつ、日々懸命に頑張っている職場組合員の頑張りと期待に応えるため、連合方針を踏まえ今年以上の取り組みを展開して頂きたいと考えます。



ガンバロー三唱

日本労働組合総連合会
千葉県連合会（連合千葉）



発行人 林田博史 編集人 斎藤政洋
〒260-0013 千葉市中央区中央4-13-10
千葉県教育会館 新館6階
TEL 043-201-2222 FAX 043-201-2023
URL <http://chiba.jtuc-rengo.jp/>

No.160 2015年11月

次に、喫緊の重要課題である「労働者保護ルール改悪阻止」の取り組みは、私たち働くものを守る重要な法律について、年明けから大きな見直しが行われようとしています。安倍政権は、成長戦略の名のもとに、労働者保護ルールの改悪を推し進め、働く者の雇用と暮らしを脅かそうとしていますが、雇用環境の地域間格差の拡大を助長することにつながりかねないことは明らかであります。地域社会は、地域住民、勤労者の生活の基盤であり、人口減少・少子高齢社会が進行する中にあっても「働くことを軸とする安心社会」を実現し、持続可能な経済社会を構築するためには、地方分権とナショナルミニマム（国家が国民に対して保証する最低限の水準）の確保、地域産業の活性化と雇用・労働条件の維持・改善など、地方行政における諸政策・制度の実現がより求められているわけであります。

最後に、第24回参議院議員選挙についてであります。後ほど、必勝決議の提案を予定していますが、我々が求める民意が適正に反映され、健全な議会制民主主義が機能する政治の確立は重要な課題であるとともに、安倍政権に対する対立軸を明確に打ち出すことであり、私たちが主張する社会のすそ野に光を当てた政策の転換や推進できる政治勢力が何としても必要であります。

明年7月の参議院議員選挙・比例代表には、連合組織内候補予定者12名を擁立し取り組み、千葉選挙区「小西洋之」候補予定者とセットでの周知・徹底、投票の呼びかけなど政治活動の強化と組織の連携強化を要請するものであります。

今年も、連合千葉に結集する仲間を取り巻く情勢・環境は、依然として厳しい変革の波が続くものと想定されますが、労働組合が社会から期待され、共感を得る運動を追求・具体化していくためには、私たちがめざす「働くことを軸とする安心社会」を実現することであり、連合に結集する仲間の皆さんとともに組織された労働組合の運動的使命・役割を果たしていくことが大切であります。

これからも各構成組織の全役員が様々な課題に新たな一歩を踏み出して組合員との一体感を高め、社会的に価値ある活動を進めることが重要であります。



直面する労働者保護ルール改悪阻止行動、明年的第24回参議院議員選挙、2016春季生活闘争や組織拡大をはじめとした様々な課題について、連合千葉は皆さんと力を合わせ、全力を挙げて頑張り抜く決意を申し上げ、連合千葉を代表しての挨拶とします。

連合千葉第15回定期大会を開催する！ 社会的うねりをつくりだす運動に一層注力し、「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう！

連合千葉は、2015年10月23日（金）にオークラ千葉ホテルにおいて、執行部、代議員、特別代議員、傍聴者を合わせ192名の参加のもと、「連合千葉第15回定期大会」を開催しました。

今定期大会は、議長団に福田代議員（千教組）と有田代議員（JAM東京千葉）を選出し、議事運営を行いました。ご来賓挨拶では、連合木村副事務局長、諸橋副知事、鈴木千葉市副市長をはじめ多くのご来賓より激励の言葉を頂戴しました。

経過報告に続き、「2016年から2017年度運動方針」「2016年度予算」「役員改選」など、6つの議案について議論がされました。代議員からは運動方針を補強する立場から、組織拡大と社会的うねりについての意見を頂戴し、全体で方向性を確認し、すべての議案を満場一致で可決後、第24回参議院議員選挙に向けたセレモニーと大会宣言を採択し、成功裡に閉会しました。



（開会挨拶）
葛生副会長



（本部代表挨拶）
木村副事務局長



（事務局長答弁）
林田事務局長



（議長団）
福田代議員 有田代議員

連合千葉第14回定期大会から第15回定期大会までに、以下の役員の皆さまが退任されました。
在任中のご尽力に感謝申し上げます。

副会長 執行委員 執行委員 執行委員 執行委員	西藤 勝（JP労組） 香取 雄二（国公総連） 佐野 亘（労済労連） 澤田 修二（全自交） 肥田 昭司（情報労連）	副会長 執行委員 執行委員 執行委員 執行委員	芝崎琢磨巳（フード連合） 吉野照夫（全国ガス） 永富博之（電力総連） 永崎宏之（千教組） 前川将一（JEC連合）
-------------------------------------	--	-------------------------------------	--

2015～2016年度 連合千葉役員（敬称略）

